

鹿児島県肝属郡肝付町

ICT活用とワークライフバランスの実現 多様な人材の登用で畜産業の拡大挑戦

鹿児島県の大隅半島にある人口約1万7千人の肝付町は農業・畜産を主体とする一次産業の町である。ここで畜産を主力として幅広い分野への事業を展開。牛の堆肥からお米や牧草を育成し、それらを元にした独自のTMR飼料（完全混合飼料）で和牛を繁殖・哺育・育成・肥育し、加工、販売までを一貫して行い高品質な牛肉を提供。そのおいしさは海外を含め多くの関心を引いている。また輸出に関しては商社に頼らず独自で販路開拓を行っている。

●所在地	鹿児島県肝属郡肝付町後田2566-2	●設立	2007年
●電話/FAX	0994-45-5098/0994-45-5095	●資本金	5,100万円
●URL	https://www.shinmurachikusan.com	●従業員数	80人
●代表者	代表取締役 新村 順一郎		



担い手確保

働きやすい職場の実現と多様な人材受入で一次産業に貢献

事業拡大と並行して地元の若者、高齢層など幅広い人材を雇用。また企業全体の約半数が女性でパート従業員の社会保険完備、育児休暇制度取得の促進を積極的に取組み、農業の未来をつくる女性活用経営体WAPI00選に認定された。同業種では数少ない週休2日制を導入し、また福祉施設（就労継続A型事業所）との農福連携、外国人技能実習制度（ベトナム人）等で多様な人材の活用や日本各地からの農業・畜産研修生の受入・地元学生の職場体験など全国の一次産業人材の育成にも注力している。

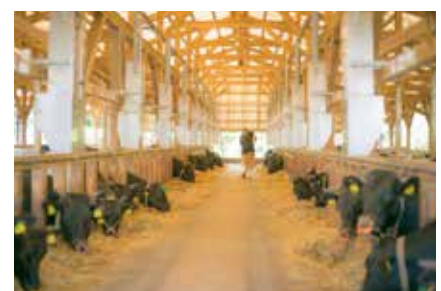


女性が働きやすい環境と福利厚生の実現

サービス

経営理念浸透で全ての社員が役割業務を自発的に行う組織風土醸成

畜産業では労働負担軽減と経営効率化が大きな経営課題。そのため監視カメラ、U-motion センサー（行動監視システム）などICT化導入による分娩事故率の低下。また自動給餌システム、マイクロフォガー、ミルメーカー導入による労働時間の軽減化、効率的で働きやすい職場環境を構築。経営理念「最も多くの人を喜ばせた者が最も大きく栄える」を社員に浸透させるため、あえて役職をなくした結果、全スタッフが役割業務を自発的に行うようになり、クレームやミスが減り、会社業績も伸びた。



ICT化導入と地元木材を使用した牛舎

第一次産業中心の地域で雇用拡大、皆が笑顔で働ける職場作り

社長は20代で本格的に畜産の世界へ。父親から受け継いだ16頭が現在は1,000頭まで拡大。生産から肥育まで畜舎環境・餌・水など「こだわりの牛づくり」を追求した一貫経営を実践。加えて肉牛の卸販売、焼肉店経営、ネット販売、子会社化、台湾法人を設立。現在は牛肉・お米等の輸出を商社に頼らず独自の方法で取組み、短期間で販路先の確保と事業を拡大。また地元の経営者等とも積極的に交流し経営ノウハウの継承、農福連携・耕畜連携など「地域とともに循環型農業」を実践し地域活性化にも貢献。



こだわりの牛づくりを目指して品評会参加